

# 株主通信



Internet Initiative Japan

第20期 上半期決算のご報告 2011.4.1 - 2011.9.30

株式会社インターネットイニシアティブ 証券コード:3774

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年3月の東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

弊社は、本年12月に設立20周年目を迎えることとなりました。インターネットは世界のあらゆる仕組みを変える技術革新であると確信し、いち早く商用化に取り組みました。以来20年にわたり、新たな情報通信基盤としてのインターネットについて、技術的なイニシアティブをとり続けてまいりました。インターネットの普及は世界のあらゆる枠組み、

政治、産業、社会、日々の暮らしを大きく変えてきましたが、インターネットがもたらす変化の可能性を考えると、いまだ始まったばかりとも言えます。大航海時代のインド航路発見がグローバルな活動をもたらし、科学技術の発展がかつて想像もできなかった時代をつくったのと同じように、インターネットは世界を変え



ています。無限の可能性を持つイノベーションであるインターネットが、当初の思いである「人間の知の拡大」につながるような発展をしていくことを目指して、今後ともイニシアティブをとり続けてまいりたいと考えております。

この上半期におきましては、継続的なアウトソーシング需要の高まりに対応するため、クラウドサービス[IIJ GIO(ジオ)]の引き続きのサービスラインナップの強化、松江および三鷹のデータセンター新設を含む設備増強に努めてまいりました。クラウドサービスを含むアウトソーシング関連サービスは順調に売上規模を拡大しております。当上半期の業績といたしましては、売上高は前年同期比37.7%増の472.1億円、営業利益は前年同期比103.8%増の24.5億円、当社株主に帰属する当期純利益は前年同期比58.4%増の13.6億円となりました。

企業情報システムのアウトソース化の流れが強まってくなかで、弊社グループの果たすべき役割は今後益々大きくなっていくものと認識しております。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

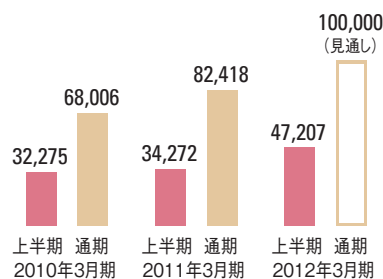
2011年12月

代表取締役社長 鈴木 幸一

## 連結業績ハイライト

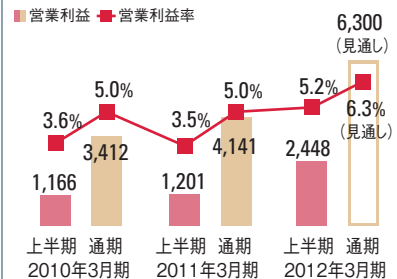
営業収益(売上高)

(単位:百万円)



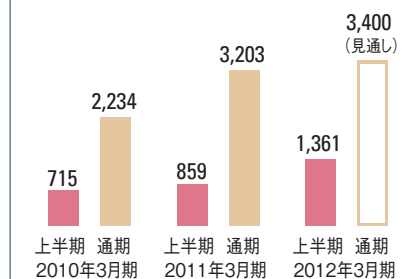
営業利益

(単位:百万円)



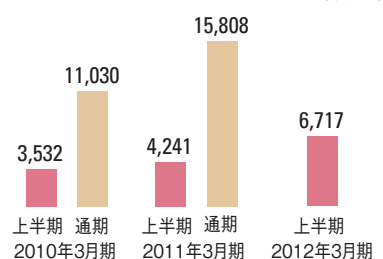
当社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



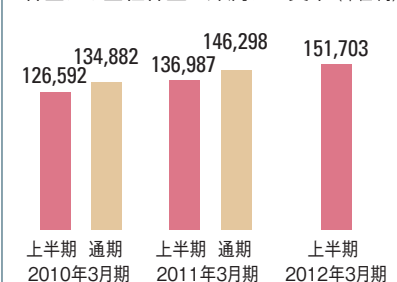
基本的1株当たり当社株主に帰属する当期純利益

(単位:円)



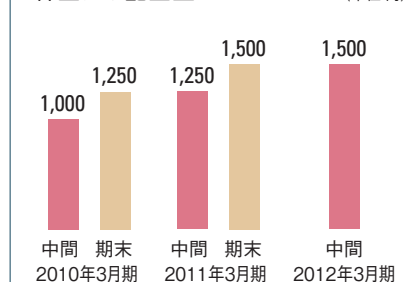
1株当たり当社株主に帰属する資本

(単位:円)



1株当たり配当金

(単位:円)

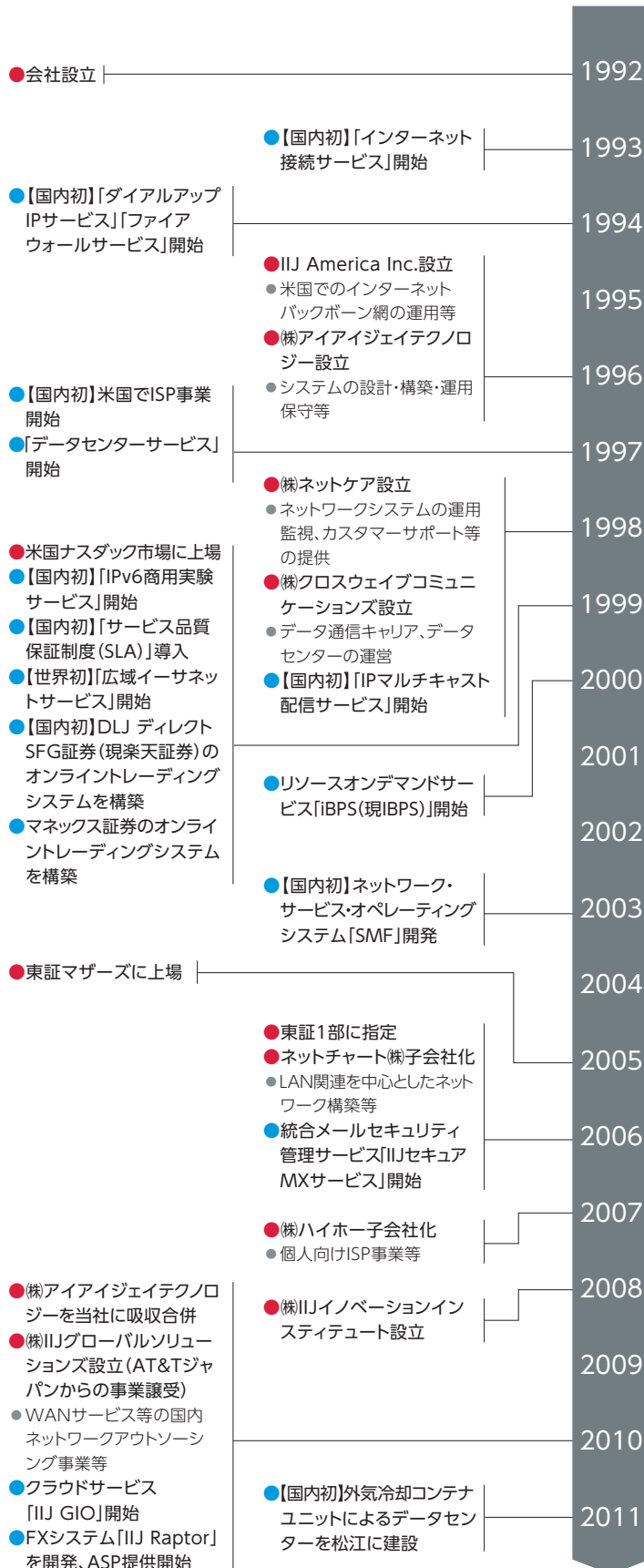


# 20<sup>th</sup> Anniversary

## IIJグループ20年の歩み

IIJは、本年12月3日に設立20周年目を迎えました。

インターネットがまだ日本で普及していなかった1992年の設立当時から20年間のIIJグループの成長の軌跡をご紹介します。



### 拡大期 (1992頃～1998頃)

日本初の本格的商用インターネットサービスプロバイダー(ISP)として設立後、インターネット接続サービスの提供を軸に事業基盤・お客様基盤を確立いたしました。

### 変革期 (1999頃～2003頃)

ISP事業の価格競争の進展に伴い、高品質・高信頼性を重視する大手法人・官公庁を主要ターゲットにとらえ、インターネット接続サービス、アウトソーシングサービス、ネットワークシステム構築・運用保守等を複合的に提供する「トータル・ネットワーク・ソリューション・プロバイダー」へと事業モデルを発展させました。

### 展開期 (2004頃～)

アウトソーシングサービスやネットワークシステム運用保守等の恒常的な月次売上(ストック売上)を積み上げ、増収増益を実現しつつ、安定収益基盤を確立いたしました。また、M&A等による事業規模の拡大にも努めてまいりました。

### IIJの強み

#### ● 優良法人顧客基盤

大企業や官公庁等を中心とした6,500社超のお客様にネットワーク関連サービスを提供しております。各業界をリードする多くの企業に当社サービスをご利用いただいております。

業界毎の連結売上高トップ10企業中、当社がサービスを提供している企業数

電機	10社/10社	卸売業	9社/10社
情報・通信	10社/10社	銀行	9社/10社
機械	9社/10社	証券	9社/10社
精密機器	10社/10社	保険	8社/10社
小売業	8社/10社	建設	8社/10社

出典：業界毎の売上高トップ10企業は、東洋経済新報社「会社四季報」をもとに当社にて作成

#### ● 卓越した技術力

当社は、日本の中心的なインターネット技術者が集まり設立されたもので、国内トップクラスのインターネット・エンジニアリング会社であると自負しております。設立以来、ファイアウォールサービスやIPマルチキャスト配信サービス等、現在では広く普及している様々なインターネット関連サービスをいち早く開発の上、プロトタイプとして提供し、マーケットを牽引してまいりました。

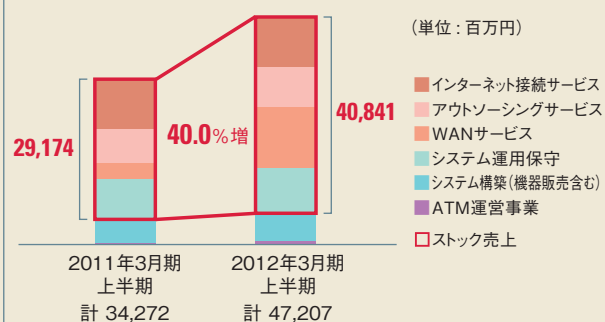
## 当上半期連結業績について

営業収益(売上高)は、2010年9月に子会社化したIIJグローバルソリューションズ(以下IIJグローバル)の売上寄与(6ヶ月分)およびストック売上の堅調な増加等があり、前年同期比37.7%増の472.1億円となりました。ネットワークサービス売上高は、法人向けインターネット接続サービス、アウトソーシングサービス、WANサービスが各々伸長し、前年同期比51.4%増の313.2億円となりました。SI売上高は、中小型構築案件積み上げ、クラウドサービス「IIJ GIO」の継続増加等により、前年同期比13.3%増の147.1億円となりました。

営業利益は、ネットワークサービス売上総利益の増加およびATM運営事業の営業損失の縮小等があり、前年同期比103.8%増の24.5億円となりました。

## 前年同期比 ストック売上の状況

ストック売上は、2011年3月期上半期の291.7億円から2012年3月期上半期の408.4億円へ拡大。安定収益基盤の継続拡充



ストック売上とは、インターネット接続サービス、アウトソーシングサービス、WANサービス、システム運用保守を継続的に提供することで恒常的な売上が月次計上されるものをいいます。

## サービス区分別業績について

※( )は前年同期比の増減

### ネットワークサービス

売上高 **313.2** 億円 (51.4%増)  
売上総利益 **62.8** 億円 (61.6%増)

### 法人向けインターネット接続サービス

売上高 **72.8** 億円 (4.8%増)  
大口案件獲得や従量課金の伸長により増加。IIJモバイルはM2M案件の積み上げ等により契約件数が継続増加

### 個人向けインターネット接続サービス

売上高 **29.3** 億円 (12.6%減)  
旧式サービスの継続解約の影響等により減少

### アウトソーシングサービス

売上高 **84.1** 億円 (18.6%増)  
データセンター関連、IIJ GIOホスティングパッケージ、Webセキュリティ関連等の各サービスが堅調増加

### WANサービス

売上高 **127.0** 億円 (285.2%増)  
IIJグローバルに係る売上寄与、IIJ顧客における売上増により増加

### システムインテグレーション(SI)

売上高 **147.1** 億円 (13.3%増)  
売上総利益 **29.9** 億円 (4.5%減)

### SI構築

売上高 **51.9** 億円 (15.5%増)  
IIJグローバル分の売上追加、中小規模案件の積み上げ等により増加

### SI運用保守

売上高 **95.2** 億円 (12.2%増)  
IIJ GIOコンポーネントの継続増加等により増加

### 機器販売

売上高 **6.1** 億円 (64.7%増)  
売上総利益 **0.6** 億円 (12.0%増)

### ATM運営事業

売上高 **5.6** 億円 (前年同期 2.3億円)  
営業損失 **1.6** 億円 (前年同期 3.0億円)

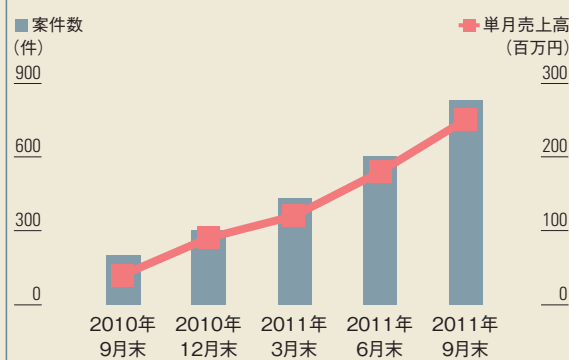
ATM設置台数、利用件数の増加により売上継続増加、損失継続減少。ATM導入台数は2011年11月8日現在349台

## クラウドサービス「IIJ GIO」の事業進捗

2010年5月よりサービス提供開始しましたクラウドサービス「IIJ GIO」は引き続き順調に事業進展し、当第2四半期末での導入案件数は830件超、9月の単月売上高は2.5億円強となり、3月時の430件、月額1.2億円から継続伸長しました。多くの大手法人のお客様や、ソーシャルアプリケーションプロバイダーにご利用いただいております。

当上半期においては、クラウドEXPO出展等のプロモーション強化およびIIJ GIOパートナー拡充等の事業推進に努めました。また、需要増加に対応するため、松江データセンターにおけるコンテナ・サーバ設備の拡充および三鷹データセンターの開設を行いました。当社グループでは引き続き、中長期的なアウトソースニーズの高まりに対応し、IIJ GIOを積極的に推進してまいります。

## IIJ GIO導入案件数および単月売上高の推移



## 海外事業の拡大に向けて

当社は、従前より子会社IJ Americaにて、米国インターネットバックボーンを運営し米日系企業等にネットワークサービスの提供を行っております。日本企業のグローバル化・海外展開が急速に進展していくなかで、特にアジア地域においてグローバルなネットワークサービスへのニーズが一層強まっております。当社グループは、今期中に中国の現地法人与タイの駐在員事務所を設立し、お客様の海外ネットワークをつなぐ国際WANサービス、インターネットVPN、アウトソーシングサービス提供等の国際事業を強化してまいります。来期以降もグローバルニーズの継続拡大にあわせ、アジアを中心に拠点を設置し、お客様の国内・国際でのITシステムニーズにワンストップでお応えする体制を整え、中期的に国際サービスを大きな事業の柱としていきたいと考えております。



## 会社概要 (2011年9月30日現在)

会社名	株式会社インターネットイニシアティブ
本社所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング
設立年月日	1992年12月3日
資本金	14,295百万円(単体)
従業員数	1,955名(連結)、1,331名(単体)
事業内容	インターネット接続等のネットワークサービスの提供、 ネットワークシステムの構築および保守運用、 通信機器の開発および販売

## 株式情報 (2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	377,600株
発行済株式総数	206,478株
株主数	3,864名

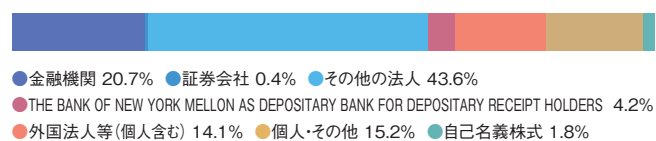
### 大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
日本電信電話株式会社	50,475	24.4
鈴木幸一	12,931	6.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,894	6.2
伊藤忠商事株式会社	10,430	5.1
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	10,200	4.9
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DEPOSITARY RECEIPT HOLDERS	8,701	4.2
MORGAN STANLEY & CO. LLC	6,565	3.2
第一生命保険株式会社	6,365	3.1
株式会社みずほコーポレート銀行	3,560	1.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,430	1.7

(※)THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DEPOSITARY RECEIPT HOLDERSは、預託銀行にて当社の株式を預託し、当社米国預託証券を発行するにあたっての預託名義であり、同所有株式数は、発行されている当社米国預託証券に相当する預託株式数です。

(※)当社は自己株式3,794株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

### 株式所有者別分布状況



## 株式会社インターネットイニシアティブ

TEL: 03-5259-6500 E-mail: ir@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/IR/>

### 上場証券取引所

- 東京証券取引所市場第一部 2006年12月上場(証券コード: 3774)
- 米国ナスダック 1999年8月上場(ティッカーシンボル: IJ)

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番11号 TEL0120-232-711(通話料無料)
特別口座の口座管理機関	住友信託銀行株式会社
同連絡先	住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 TEL0120-176-417(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.ij.ad.jp/">http://www.ij.ad.jp/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- ご注意
1. 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、住友信託銀行が特別口座の口座管理機関となっておりますので、住友信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお手続きできませんので、ご注意ください。
  3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## Webサイト「投資家の皆さまへ」のご案内



IJの事業内容や最新情報についてご興味をお持ちの株主・投資家の皆様は、ぜひIJのホームページをご覧ください。決算説明資料や開示資料のほか、プレスリリースやFAQ集等のコンテンツを充実させております。

URLはこちら→ <http://www.ij.ad.jp/IR/>